

医療支援室だより

TOPICS

- 医療支援室室長よりご挨拶 / 災害支援活動報告
- 部門紹介 看護科 外来・手術室
- 当院の認定看護師紹介 / チーム医療活動紹介
- 小児科「小児の腹痛診療」
内科「当院で行っている誤嚥性肺炎への取り組み」
- 栄養室よりお知らせ
医療支援室よりお知らせ
- 外来担当医表 当院アクセス方法



医療支援室室長ご挨拶



副院長 兼 医療支援室室長
外科 津村 裕昭

本院は一般診療や小児救急医療の提供だけでなく、地域に根差した病院として地域医療支援病院と地域社会との中間的機能やかかりつけ医の支援機能を果たすことが重要と考えています。

医療支援室では、従来から入院前に情報を収集整理して患者様の円滑な受け入れに努めてまいりました。それに加えて9月からは、予定入院患者様に対する「入院支援」を開始いたしました。入院前に併存疾患や問題点を整理・把握して、入院後早くから多職種の専門職が介入することで、中心的疾患の治療がより円滑に運ぶことを目標にしております。従来からMSWを中心に行っております退院支援と合わせて、入院前から退院後までをトータルにサポートして、退院後によりスムーズに地域での生活に戻っていただけるよう支援しています。

また、「在宅医療支援相談窓口事業」も9月から同時に開始して、在宅診療医や地域包括支援センターからのご相談に応じています。このような包括的取り組みを通じて、これからも地域社会に一層貢献できる病院であり続けたいと思っております。

災害支援活動報告

西日本豪雨災害被災地へ訪問

この度の西日本を中心とした豪雨災害では、被災者の皆様にお見舞い申し上げますとともに、災害でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りいたします。

7月6日の被災を受け、7月15日に避難所である矢野南小学校体育館へ医師1名、看護師2名、事務員1名で医療救護班として訪問させていただきました。昼間の避難所は高齢者が多く、血圧測定を行いながら、それぞれの思いを傾聴し精神面のケアに努めました。内服が継続できていないため、普段よりも血圧が高い方が多かったです。被災者の声を聞き、被災の状況の深刻さを痛感するなかで、先の見えない不安への絶望感など、心的なストレスを抱えていらっしゃいました。その中で「自分だけでなくみんな大変、がんばらんとね。」といった声を聞き、避難所での地域の繋がりは一人ひとりの心の繋がりで、心の強さに繋がっていくのだなと思いました。体調管理と心のケアを継続して関わることの必要性を痛感し、今後もこのような機会に参加していきたいと思っております。

(医療支援室 看護師 吉村 順子 / 岡本 友美)

～看護科～ 外 来

当院外来は広島市医師会が主体となり、1972年(昭和47年)元旦から年始小児救急診療が始められました。そして1977年に救急医療施設が整備され、毎日の夜間救急診療が開始し現在に至っています。ひと月約2000名以上の患者さんが夜間受診をされています。そのため重症の患児を見逃さないようにするために医師と協力しながら救急トリアージを行っています。また、子どもの権利を考えながらプレパレーションを用いて、説明・処置等を行うように心がけています。

当院の小児救急はよく知られていますが、小児科以外にも内科・外科・小児外科・麻酔科・小児心療科・小児皮膚科(水曜日午後)・耳鼻科(土曜日準夜)の診療も行っています。包括ケアシステムと言われる中で、患者さんが住み慣れた場所で安心して暮らしていけるように地域の先生方や看護師、MSW、介護支援専門員の方々と連携をとりながら患者さんを支える一員になりたいと思っています。現在、地域連携を図っていくために退院前カンファレンスへの参加や看護フェアを開催し、舟入市民病院を身近に感じてもらえる取り組みも行っています。



医師と外来スタッフ

今後も小児救急医療拠点病院、2類感染症指定医療機関、重症心身障害児者の短期入所など公的医療機関としての役割を担いながら、地域に根ざした病院になれるよう、一人ひとりの患者さんや家族の思いに寄り添いながら、「安全・安心な看護の提供」ができるようにスタッフ一同、力を合わせていきますのでどうぞよろしくお願いいたします。



看護フェア 白衣体験



看護フェア ハンドマッサージ

～看護科～ 手 術 室

私たちは、病院の3階にある手術室・中央材料室と、2階にある内視鏡室・麻酔科外来の4部署を20名の看護師で担当しています。どの部門も専門性が高くスタッフ一同自己研鑽に励み、知識・技術の習得に取り組み、より良い医療・看護を提供いたします。



手術室探検の様子

手 術 室

非日常的な治療の場となる手術室は、夜間休日の緊急手術にも対応できる体制をとり、一般消化器外科と小児外科の手術を年間700件程度行っております。手術症例では、ヘルニア手術は全国屈指の実績があり、中四国のヘルニアセンターとなっています。患者様の選択した手術治療を安心して受けて頂く為に、看護師の術前訪問は緊急手術を除き全症例行っております。

また小児手術では、治療が怖かった体験ではなく“成功体験”として退院できるように病棟スタッフと連携し「ご家族で手術室探検」に参加していただき、安心してお子様の治療を見守っていただいています。

内 視 鏡

内視鏡専門医と共に4名の看護師(内視鏡技師資格者)により連携病院からの予約検査や健診(人間ドック)の検査を行っています。状態状況により胃カメラ・大腸カメラを同日に行う事もできます。また、小児の内視鏡検査が多いのも特徴です。すべての内視鏡検査治療が安全安楽に受けて頂けるように、鎮静剤の使用だけでなく看護師の細やかな介入で安楽な検査を提供しています。

麻酔科外来

常勤麻酔医によるペインクリニックと手術前診察を行っています。安全な手術のために丁寧なわかりやすい手術麻酔、手術後の疼痛コントロールの説明を行っています。長期間の痛みで悩まれている方は、ぜひ受診して下さい。専属の看護師が対応します。

当院の認定看護師紹介

認定看護師とは、日本看護協会認定看護師認定審査に合格し、特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することが認められた者をいいます。舟入市民病院における看護ケアの広がりや質の向上をはかることを目的としています。



摂食・嚥下障害看護  吉村 明美 摂食・嚥下障害のある患者さんやご家族の食べたいという思いを支える援助を行っています。その人の生き方を尊重し、個性のある口腔ケアの実施、口から食べる喜びをサポートできるよう関わっていきたくと思っています。	皮膚・排泄ケア  宮原 久美江  田中 博之 予防的スキンケアを行い、皮膚トラブル発生がないことを目標に、日々看護を行っています。また、地域の施設や公民館で「皮膚にやさしいスキンケア」の出前講座を行い、知識の還元にも力を入れています。	緩和ケア  谷口 京子  松岡 奈央子 症状の緩和への援助と合わせて、その人らしさは何かを考えながら、患者さんと関わっています。これまで過ぎてこられた人生や、これからの希望を伺いながら、疾患と付き合っていけるような援助を行っています。	小児救急看護  森 麻美  藤本 真美 小児救急トリアージや初期対応指導の充実に取り組んでいます。また、地域の公民館や保育園に出向き、「子どもの命を守るために（乳幼児に起こりやすい事故と病気のお話）」というテーマで出前講座を行うなど、子育て支援にも力を入れています。	感染管理  政本 伸二 患者さんや地域の方、すべての医療従事者に対して感染症を拡げない、うつさない、うつされないことを目標に日々活動しています。
--	---	---	---	--

チーム医療活動

院内にはそれぞれの専門性を活かした7つの医療チームが活動しています。この度は2つの医療チームの活動をご紹介します。

1 院内感染対策チーム

科学的根拠に基づいた院内感染対策が臨床実践され、患者さんに質の高い医療が提供できるよう、以下の2つの院内感染対策活動に取り組んでいます。

- 1 感染制御のためのチーム(ICT)として専従の感染管理認定看護師と専任の薬剤師、細菌検査技師、感染管理医師が中心となり院内の衛生的な療養環境チェックや全職員への感染対策教育、医療関連感染の原因分析と改善のための介入を行っています。外部から依頼があれば研修会等の講師も行っています。
- 2 抗菌薬適正使用について支援するチーム(AST)として感染制御認定薬剤師、感染症専門医が中心となり適切な外来内服抗菌薬処方の推進や広域抗菌薬使用症例(抗MRSA薬、カルバペネム系、PIPC/TAZなど)について検討し、必要時支援を行っています。



グラム染色実習風景

2 医療安全対策チーム

医療安全対策委員会と医療安全管理室が協力し「医療安全活動」を行っています。構成員は医療安全管理室専任看護師、医師、看護師、各部門職員等22名が参加しています。医療安全対策委員会、医療安全院内ラウンド、事例検討会、院内研修会などの活動のほか、本年度から「医療安全対策地域連携」活動を開始し、中電病院、共立病院、安芸市民病院など近隣病院と連携して、医療安全対策体制や安全活動状況を相互チェックする体制を整えました。医療事故を未然に防ぎ、安全・安心の医療を提供するために、安全情報共有化、マニュアル整備、安全教育研修を通じて職員の安全意識を高め、当院の理念である「信頼される医療の提供」の実現に貢献したいと考えています。

小児の腹痛診療



救急外来では腹部症状を主訴に受診する患者さんが約 1-2 割いると言われています。

当院でも年間約 8,000 人の患者さんが腹部症状を主訴に受診します。腹痛の原因は産科や泌尿器科疾患も含まれ、想定外の疾患が原因であることも多いものです。

当院の腹痛診療では小児外科や小児心療科と連携することで、腹痛で苦しむ患者さんの受け入れ先として最初の門戸となるように努めています。

他科との連携というソフト面の他に、ハード面でも、2015 年に腹部エコーを、2013 年に MRI をバージョンアップし、診断の精度を高めています。CT も近々バージョンアップする予定です。消化管内視鏡検査も積極的に行っており、消化管出血の診断や治療、*H.pylori* 感染の診断と治療にも積極的に対応しています。

検査は主に上部消化管内視鏡が多いのですが、鎮静は観察目的の内視鏡では静脈麻酔を標準とし、処置内視鏡では全身麻酔も考慮します。静脈麻酔はミダゾラムとベンタゾシンの 2 種類を用いることで、呼吸抑制などの副作用を軽減したうえでしっかりと鎮静を賭けることができ、1 歳前後のお子さんでも安全に検査を行っています。機能性胃腸症や胃食道逆流症などのお子さんも、検査後は不定愁訴を客観的にとらえることができるようになり、その後の診療がスムーズになります。

吐下血のお子さん、*H.pylori* 感染を調べたいお子さん(画像検査をしない除菌は推奨されていませんので、ぜひ御紹介ください)、腹部の不定愁訴のお子さんがいましたら、消化器内科、小児外科、小児心療科と連携しながら対応いたします。また、外科に送るべきか迷うような患者さんや、慢性腹痛で一通りの検査を希望している患者さんも、ぜひどうぞ。

当院で行っている 誤嚥性肺炎への取り組み



近年、日本人の死因の第三位を占めるようになったのが肺炎です。中でも、未曾有の高齢化社会を迎えつつある現在、加齢に伴う誤嚥性肺炎の増加が問題になってきています。

誤嚥性肺炎は、肺炎ではありますが、その背景には、基礎疾患の進行、社会活動の低下、低栄養や筋力の低下など高齢者の抱える問題点を多くはらんでおり、病態也多岐にわたります。わずか数日の絶食や床上安静で容易に ADL (Activities of Daily Living) は低下してしまう印象です。

当院では、発症早期より、主治医 (呼吸器内科)、摂食嚥下認定看護師、歯科医師 (広島総合リハビリテーション病院)、栄養士、理学療法士のチームを結成し、介入を行っています。

肺炎治療、全身管理を行いながら、同時に患者さん一人ひとりの嚥下機能の評価とそれに合わせた栄養プランやリハビリテーションプランを実施し、できる限り「食べる楽しみ」、患者さんの QOL (Quality Of Life) を大切にしたいと思っております。



肺炎を発症した急性期の状態から、かかりつけの先生にお返しするまでが私たちの役割だと考えております。

いつでもご相談ください。



～栄養室よりお知らせ～ 嚥下調整食について

嚥下調整食とは、嚥下機能障害に配慮して調整した食事の名称です。「嚥下」とは咽頭から食道・胃へ送り込むことです。これらの過程のどこかがうまくいなくなる状態を「嚥下障害」といいます。当院では「摂食嚥下リハビリテーション学会嚥下調整分類 2013」に基づき嚥下調整食を提供しています。

毎週木曜日には、リハビリテーション病院の歯科医・歯科衛生士と当院の摂食嚥下認定看護師、管理栄養士、理学療法士、薬剤師の他職種で嚥下回診を行っています。実際に患者様の昼食の時間に回診を行い、必要に応じて、嚥下内視鏡検査及び嚥下造影検査を行います。その際に嚥下機能の状態を確認し、食事形態・水分の調整、栄養補助食品の付加、食べるときの姿勢など調整を行っています。

また、本人やご家族への嚥下食の指導、退院支援カンファレンス参加などを行い、退院後のQOL(生活の質)の低下や低栄養予防に努めています。



病棟での主食の試食会の様

医療支援室よりお知らせ

●「在宅医療相談支援窓口」開設！

平成 30 年 9 月 1 日より「在宅医療相談支援窓口」の運営を開始いたしました。

本事業は、広島市から中区医師会への委託事業であり、在宅医療の推進を図ることを目的としております。

主に広島市中区の医療機関や包括支援センターからの相談に応じ、在宅療養患者の入院受け入れ機関の調整や在宅医療に関する相談に対応いたします。

平日 8 時 30 分から 17 時 00 分まで対応しておりますので、お気軽にご相談ください。

●オープンカンファレンスを開催しました！

平成 30 年 7 月中旬に当院にてオープンカンファレンスを開催致しました。お陰をもちまして当日は、多くの先生方に御来席いただきました。

テーマは「誤嚥性肺炎」、講師は当院呼吸器内科医師・認定看護師の他、外部より歯科医師の先生にもご講演いただきました。地域の開業医の先生方からも関心の高い内容であり、当院での取り組みを理解できた、参考になったというご意見を多数いただきました。



次回は、来年 2 月を予定しておりますので、宜しくお願いいたします。

●「入院支援窓口」開設！

平成 30 年 9 月より「入院支援」を開始いたしました。入院支援の目的は、

1. 入院する患者・家族に外来受診時から関わり、入院生活のオリエンテーションなどを行うことで安心して入院することができる
2. 退院を見据えて、入院前から利用しているサービスの利用状況や支援の内容を確認することで、退院への支援につなげることができる

現在、ヘルニアの手術を受けられる患者さんに対して入院支援を開始しております。入院の準備や入院生活等でご不安なことがありましたら、遠慮なくご相談ください。

スタッフ紹介

室 長	津村 裕昭(副院長)	
看護師	光吉 康子(師長)	吉村 順子
	酒井 郁恵	岡本 友美
	武田 芳枝	佐々野 みゆき
MSW 事 務	井手岡 雅子	玉崎 浩一(8/1 採用)
	上手 梨加	中野 美和
	森田 沙織(6/25 採用)	

●医療支援室スタッフが、この夏より新たに2名増えました！

外来担当医表

平成30年10月現在

受付時間		診療科			月	火	水	木	金	土	日						
午前	8:30～11:00	内科		1診	山 本	長 尾	新谷(貴)	吉 田	新谷(貴)	休診		内科	主な専門分野		担当医		
			2診	中 本	柳 田	國 弘	柳 田	沖 本	呼吸器				柳田・沖本 長尾・中本				
			3診	沖 本	中 本	吉 田	長 尾	國 弘	消化器				山本・國弘				
			4診	循環器専門外来 橋 本	循環器専門外来 井上一郎	循環器専門外来 井上一郎	-	循環器専門外来 井上一郎	循環器				井上一郎 橋本・松下				
			5診	-	糖尿病専門外来 新谷(真)	-	-	糖尿病専門外来 新谷(真)	糖尿病				新谷(真)				
			心エコー	○	○	○	○	○	血液				新谷(貴)・吉田				
		外科	1診	-	長 谷	金 廣	-	亀 田	一般外科 消化器外科			津村・金廣 長谷・亀田					
			2診	金 廣	津 村	亀 田	長 谷	津 村	小児外科 新生児外科			山岡・市川					
		小児外科	1診	山 岡	-	-	山 岡	-	神経・けいれん			兵藤・藤井					
									循環器(心エコー)			担当医					
		小児科	1診	岡 野	藤 井	松 原	佐 藤	古 江	感染症			兵藤・松原・下菌					
			2診	高 本	出 雲	下 菌	吉 野	高 本	喘息・アレルギー			岡野・下菌・吉野					
	3診		柴 沼	兵 藤	-	-	-	小児消化器	佐 藤								
	(月)(水)(金) 8:30～11:00	ペイン クリニック	麻酔科	佐々木	-	佐々木	-	佐々木	腎臓	古 江							
				平 良	-	平 良	-	平 良	一般小児	出雲・柴沼 松本・松木							
			黒 崎	黒 崎	黒 崎	黒 崎	黒 崎										
9:00～12:00	小児 心療科	外来 予約		黒 崎	黒 崎	黒 崎	黒 崎	黒 崎	診療科からのご案内								
				吉 原	吉 原	吉 原	吉 原	吉 原									
				橋 高	橋 高	橋 高	橋 高	橋 高									
12:30～15:00	内科	1診	吉 田	沖 本	長 尾	山 本	中 本	休診					内科	※内科医師は、内科専門分野と一般内科の診療を行って おります。 ※当院内科は、予約患者さんが優先となっております。 午前中は混雑が予想されますので、予約されていない方は 受付時間が12:30～15:00の受診をお勧めします。 ※胃カメラ、大腸検査、CT、MRI、エコー等の検査は予約制と なっております。			
		2診	-	-	-	-	-							外科	※小児外科の診療は月曜日・木曜日に行っております。		
		3診	山 本	新谷(貴)	沖 本	中 本	長 尾								小児科	※当院小児科は、予約患者さんが優先となっております。 ※乳児健診は予約なしで受けることができます。母子手帳を 必ずご持参ください。 ※予防接種(ロタ、B型肝炎)は予約制となっております。受付 時間は12:30～15:00です。15:00までにお越しください。 その他の予防接種は、予約なしで受けることができます。 母子手帳を必ずご持参ください。	
		心エコー	-	-	-	-	○									ペイン クリニック	※対象となる疾患は帯状疱疹・顔面麻痺・腰痛症(ぎっくり 腰)・五十肩・神経痛・頭痛・多汗症などです。痛みに 悩んでおられる方は一度相談にお越しください。
(月)(水)(木) 12:30～15:00	小児外科	1診	市 川	-	-	市 川	-	小児 心療科					※小・中学生を対象として、不登校・神経症・PTSD(心的外 傷ストレス障害)などに対する外来診療を行っています。 診療は予約で行っていますので、まず電話でご相談 ください。TEL:082-232-6195				
		2診	吉 野	下 菌	岡 野	藤 井	松 原						小児 皮膚科	※難治性の小児アトピー疾患を中心とした外来です。			
3診		松 本	古 江	佐 藤	出 雲	舩 木											
(火)(金) 12:30～16:00	小児心療科	健診等	-	兵 藤	-	柴 沼	-										
			健診等	-	乳児健診	予防接種	-	-									
				黒 崎	黒 崎	黒 崎	黒 崎	黒 崎									
13:00～17:00	小児 心療科	外来 予約		吉 原	吉 原	吉 原	吉 原	吉 原									
				橋 高	橋 高	橋 高	橋 高	橋 高									
				黒 崎	黒 崎	黒 崎	黒 崎	黒 崎									
水曜 12:30～16:00	小児 皮膚科		-	-	田 中	-	-										

※最新の情報は当院ホームページにてご確認ください。

当院へのアクセス

- 広島バスセンター方面(紙屋町)より
広電バス・・・江波方面ゆき (かきうち通り経由を除く)
:舟入幸町バス停 下車、徒歩 5 分
西部エリア各団地方面行き
:新観音橋東バス停 下車、徒歩 4 分
- 広島駅より
広島電鉄・・・江波ゆき
:舟入本町電停 下車、徒歩 5 分
広電バス・・・八丁堀経由 観音マリーナホップゆき
:新観音橋東バス停 下車、徒歩 4 分
八丁堀経由 広島ヘリポートゆき
:新観音橋東バス停 下車、徒歩 4 分
- 横川駅より
広島電鉄・・・江波ゆき
:舟入本町電停 下車、徒歩 5 分
- 西広島駅より
広島電鉄・・・広島駅ゆき 又は 広島港ゆき
:土橋電停にて江波ゆきにより乗り換え
舟入本町電停 下車、徒歩 5 分



地方独立行政法人 広島市立病院機構
広島市立舟入市民病院

〒730-0844 広島市中区舟入幸町 14 番 11 号
TEL:082-232-6195(代表) FAX:082-232-6156

編集・発行 医療支援室 TEL:082-232-6123
FAX:082-232-6125
駐車場 100 台収容可能

